

令和2年11月17日（火）総合教育会議

新型コロナウイルス感染症の影響 による県立学校の現状報告

県立湘南高等学校

校長 稲垣 一郎

湘南高校

■ **大正10年（1921年）開校**

※ **来年度に創立100周年**

■ **全日制・定時制課程を併設**

【**全日制**】 **普通科**

※ **学力向上進学重点校に指定**

【**定時制**】 **単位制・普通科**

報告内容

- 1 児童・生徒への影響
- 2 教職員への影響
- 3 今後の課題

■ 1 児童・生徒への影響

(1) 教育活動への影響

(2) 進学、就職への影響

(3) 児童・生徒への心理的影響

1 児童・生徒への影響

(1) 教育活動への影響

○臨時休業期間中の学習保障について

BYOD (Bring Your Own Device) と

Google Classroomを活用することで

オンライン授業 (ライブ型とオンデマンド型) を実施



家庭による通信環境の違いで学習差が拡大

➤ 通信環境の整っていない家庭にWi-Fiルータを貸与

世界7か国の日本語を学ぶ高校生と新型コロナウイルスの影響について英語でオンライン意見交換



1 児童・生徒への影響

○学校行事の延期・中止など

- ・ 修学旅行

- 代替行事（社会見学など）を実施

- ・ 文化祭・体育祭

- オンラインを併用するなど生徒が工夫して実施

○部活動の各種大会の中止

- ・ 最終学年は高校生活の部活動の集大成となる場を喪失

- 代替大会（県独自の大会など）を実施

1 児童・生徒への影響

○特別支援学校における通学時の感染症対策

- ・飛沫・接触感染対策と3密回避によるスクールバス運行

- 透明シートの設置やジャンボタクシーによる分散乗車



1 児童・生徒への影響

(2) 進学、就職への影響

○進学、就職への不安

- ・ 大学入試改革とコロナ禍に翻弄された生徒
- ・ 就職指導、就職活動の遅れ



生徒の進路への保護者の不安感の増大

➤ きめ細かな進路面談の実施

進学情報の積極的な入手・共有による不安の払拭

1 児童・生徒への影響

(3) 児童・生徒への心理的影響

○新入生は長期の臨時休業で人間関係を築くのが困難

- ・過去に不登校の経験があった生徒に顕著

○不登校、体調不良の児童・生徒が増加

- ・コロナ感染の恐怖のため登校しない児童・生徒など

1 児童・生徒への影響

○コロナ感染への心理的負担、偏見による差別

- ・部活動の試合や行事直前に感染が発覚した際の心理的負担

○家計急変による進学への不安

- ・進学をあきらめなければならないという不安

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの勤務時間増による相談・支援体制の充実

2 教職員への影響

○消毒、清掃作業などによる教職員の負担増

➤ 業務アシスタントによる消毒、清掃委託



2 教職員への影響

○特別支援学校の給食指導で介助をする際の感染防止対策

➤ マスクやフェイスシールドの着用による給食指導



2 教職員への影響

○オンライン授業用教材などの準備にかかる教員の負担増

➤ 若手教員を中心とする教材の研究・共有化



3 今後の課題

○教育活動における感染防止対策の継続

⇒ 各学校の朝の混雑状況を踏まえた登校開始時間の設定
などの継続を検討

○ICTを活用したより一層の教育活動の充実

⇒ 対面とオンラインのハイブリッド型授業への改善

○児童・生徒の心のケア

⇒ 教員と専門職の連携による早期の声掛け、支援の継続